令和７年度 健康づくり関連事業実績報告（保健所圏域別一覧）

参考資料4

【表の見方】

「重点的な取組み」⇒令和７年度の取組みのうち、重点的に取組んだもの（一つ選択）

取組み分野⇒最優先の分野１つに◎、複数分野を含む場合はその他当てはまる分野すべてに○を記載。　　取組の方法⇒当てはまる項目にすべて○を記載。

予算事事業区分⇒当てはまるものに○を記載。

	二次医療圏	保健所名	令和７年度取組み分野																令和７年度取組みのうち重点的な取組み																												
			生活習慣病発症予防						早期発見重症化予防			生活機能維持・向上				社会環境整備			取組名	実施年月	対象者、連携機関	取組の概要・目的	取組み分野																取組の方法									予算事業区分			結果・課題
																							生活習慣病発症予防					早期発見重症化予防			生活機能維持・向上				社会環境整備																
			栄養・食生活	身体活動・運動	休養・睡眠	飲酒	喫煙	歯と口の健康	健診	がん検診	重症化予防	ロコモ	フレイル	骨粗鬆症	メンタルヘルス	ヘルスリテラシー・気運醸成	ＩＣＴ（ＰＨＲ等）活用	社会環境整備					栄養・食生活	身体活動・運動	休養・睡眠	飲酒	喫煙	歯と口の健康	健診	がん検診	重症化予防	ロコモ	フレイル	骨粗鬆症	メンタルヘルス	ヘルスリテラシー・気運醸成	ＩＣＴ（ＰＨＲ等）活用	社会環境整備	会議・作業部会	研修会・講演会	個別相談（健康相談等）	ブース出展	体験型イベント	リーフレット配布	パネル展示	アンケート調査	人材、ボランティア育成	啓発媒体作成	その他	たばこ対策推進事業	糖尿病予防戦略事業	特定給食施設指導事業	
1	01豊能	01池田保健所	○				○		○		○		○						府民の健康的な食生活の実践の促進	R7年度（通年）	【対象】 府民 【連携機関】 池田商工会議所、箕面商工会議所、能勢町商工会、管内飲食店・商店街・企業、地域活動栄養士会・栄養ケアチーム豊能	【目的】 府民が健康的な食生活を実践しやすくなる食環境づくりを行う。 【概要】 V.O.S.事業の管内住民への啓発、V.O.S.メニューの提供拡大の推進、地域活動栄養士と連携し野菜アイデアレシピ作成の支援を行う。	◎																			○			○		【結果】 ●V.O.S.メニュー新規申請数 給食施設51件、飲食店3件（令和８年2月現在） プレV.O.S.メニュー新規申請数 給食施設66件、飲食店14件（令和８年2月現在） ・地域の関係機関との連携により、V.O.S.メニュー提供店の拡大を行うことができた。 ・管内飲食店１店において、公衆栄養臨地実習生が考案したV.O.S.メニューの提供に向けて調整中。 ●地域活動栄養士と共同で野菜アイデアレシピを作成し、保健所HPへの掲載や連携機関への配布を実施。 ●商工会議所会報誌へのV.O.S.事業啓発記事の掲載(予定)、商工会会員へV.O.S.事業啓発チラシを配布。 【課題】 ・住民におけるV.O.S.の認知度が低く、またV.O.S.メニュー提供店に地域差がある（提供店が一部エリアに偏っている）ため、今後もV.O.S.メニューの拡大に向け取組を検討する。
2	01豊能	02吹田市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	食育推進活動	R7年度中	【対象】 高校生などの若い世代 【連携機関】 市内公立高校、青少年活動サポートプラザの指定管理者	若い世代を対象に、食の大切さについて理解を深めることができる取組を実施するとともに、今後の若い世代への効果的な啓発のヒントを得る。 ①市内公立高校で「食べることを大切にする」をテーマとした探究活動を実施し、自分たちにできる行動を同世代に広める視点で取組を検討してもらう。 ②若い世代が利用する施設（青少年活動サポートプラザ）と連携し、朝食の摂取状況を把握するアンケートの実施と結果に対する若い世代の声を情報収集する。	◎																○												【結果】 （市内公立高校での取組） 同世代に広める視点で考えられた取組として、朝食を食べるための工夫や、食品を無駄にしないための方法等が出てきた。最終結果は2月中旬を予定。 （青少年活動サポートプラザでの取組） ・朝食の摂取状況についてのアンケートでは282名の回答が得られた。高校生・大学生は、小中学生に比べ、朝食をバランスよく食べている者の割合が減少し、何も食べていない者の割合が増加。 ・アンケート結果に対する若い世代の声では、自身の朝食メニューの紹介や少しでも食べようと思ったという感想等が見られ、朝食欠食者へのアドバイスにつながるものになった。 【課題】 上記の取組から得られた啓発の方法を参考に、若い世代や健康無関心層に響く啓発を実施する。
3	01豊能	03豊中市保健所	○	○															豊中商工会議所所報の同封サービスを活用した働く世代からの認知症予防の啓発	R7年5月		豊中商工会議所の所報「とよなかCHAMBER」の同封サービスを活用し、本市作成のパンフレット「働く世代からの認知症予防予防習慣ナビ」を同封し、啓発を行う	○	○																	○										【結果】 会員約2,700社に対し、主に働く世代（40～50代）に向けた本事業について啓発することができた。 【課題】 配布のみであるため、効果検証が難しい。
4	02三島	04茨木保健所	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	健康的な食生活について考えるキャンペーン＆イベント	R7年7月～R7年9月	【対象】 府民 【連携機関】 イモンモール茨木、茨木保健所圏域 地域・職域連携推進協議会、包括連携協定企業（住友生命・大塚製薬）、管内市町、商工会・商工会議所	V.O.S.提供店の拡大、府民のヘルスリテラシー向上を図るため、大阪府食育推進強化月間の取組みとして、V.O.S.提供店PR強化キャンペーンや関係機関と連携した参加体験型のイベントを実施。	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○		◎		○				○	○	○	○	○		○			○	○	【結果】 ・V.O.S.提供店PR強化キャンペーン参加数24店舗（前年比1店舗増） ・イベント参加者数500名 ・健康への関心度に関わらず、幅広い層の参加につなげるため、「楽しさ」「参加体験型」を重視した。その結果イオンモール茨木をはじめ、包括連携協定企業の協力もあり、想定を上回る参加数となり、幅広い層の府民に対して、楽しく健康について学べる機会を創出できたのではないかと考える。 【課題】 啓発効果を高めていくには、地域の関係機関との連携が重要。さらに連携を深めながら、取組内容を検討する必要がある。

	二次医療圏	保健所名	令和７年度取組み分野															令和７年度取組みのうち重点的な取組み																												
			生活習慣病発症予防						早期発見重症化予防			生活機能維持・向上				社会環境整備						取組み分野												取組の方法										予算事業区分			
			栄養・食生活	身体活動・運動	休養・睡眠	飲酒	喫煙	歯と口の健康	健診	がん検診	重症化予防	ロコモ	フレイル	骨粗鬆症	メンタルヘルス	ヘルスリテラシー・気運醸成	ＩＣＴ（ＰＨＲ等）活用	社会環境整備	取組名	実施年月	対象者、連携機関	取組の概要・目的	栄養・食生活	身体活動・運動	休養・睡眠	飲酒	喫煙	歯と口の健康	健診	がん検診	重症化予防	ロコモ	フレイル	骨粗鬆症	メンタルヘルス	ヘルスリテラシー・気運醸成	ＩＣＴ（ＰＨＲ等）活用	社会環境整備	会議・作業部会	研修会・講演会	個別相談（健康相談等）	ブース出展	体験型イベント	リーフレット配布	パネル展示	アンケート調査	人材、ボランティア育成	啓発媒体作成	その他	たばこ対策推進事業	糖尿病予防戦略事業	特定給食施設指導事業	結果・課題
5	02三島	05高槻市保健所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市民の健康・食育フェア＆健康たかつき２１シンポジウム	R7年9月	【対象】 市民	市民の健康や食育への関心を高め、自発的な健康づくりにつなげる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○							【結果】 日時：令和７年９月７日（日）10:00～15:30 参加者数：1,809人 市民の健康や食育への関心を高め、自発的な健康づくりにつなげることができた。
6	03北河内	06寝屋川市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ねやちょ筋プレミアム	R7年6月 ～R7年3月	【対象】 65歳以上の市民	各ライフステージに応じた筋肉量や筋力を維持・向上させること（ちょ筋）は、すべての臓器 の健康に寄与することから、令和７年度からねやちょ筋プレミアムを健康増進計画の「３つの基 本方針」に繋がるものとして実施。 本事業においては、要介護となるリスク及び骨格筋量の低下状況から65歳以上の高齢者を主 たる対象とすることが健康寿命の延伸に効果的と考え、65歳以上を主たる対象とし大測定会、筋 コツ事業及びねやちょ筋実践隊を行う。	○	○							○	◎	○		○			○	○	○	○	○	○		○			○				【結果】 12月末現在計3,205人(65歳以上市民の延べ数）参加。 3月末まで実施予定。 【課題】 SNS等で情報発信しても、65歳以上に届きにくく、紙媒体の方が有効であった。 3月末まで実施予定。
7	03北河内	07守口保健所	○	○		○	○		○	○		○	○						地域保健課と連携した歯科健康展へのブース出展	R7年9月	【対象】 門真市民 【連携機関】 門真市歯科医師会、門真市健康増進課、門真市医師会、門真市薬剤師会、大阪府歯科技工士会北東支部	住民に対して、健康に関する啓発を行う。 ・精神チーム：アルコールパッチテスト）・アルコール依存症相談等 ・感染症チーム：感染症について（結核）資料配布・クイズ・結核菌をのぞいてみよう、飛沫距離の実感等 ・企画チーム：健活10・たばこ（クイズ、ポイズンセット、肺モデル）・食生活（栄養バランスクイズ）・フレイル（握力測定）等	○	○		○	○		○	○		○	○			◎				○	○	○	○	○	○		○			○	【結果】 ・歯科健康展来場者329名、保健所ブース来場者242名（乳幼児含む）年少者の家族を中心に高齢者の来場もあった。 ・保健所の各ブースで体を動かしたりクイズに答えながらスタンプラリーをしてもらうことで、大人も子どもも楽しみながら自身の状態を把握してもらうことができた。また、普段なかなかアプローチできない30代、40代に啓発することができた。 【課題】 ・特に子供は、スタンプラリーのスタンプだけを押して、ブースの内容を見ずに回ってしまう子もいたので、より子供の興味を引くようなブース内容を検討する必要がある。 ・参加人数が去年より増え、特に受付は人が足りなかったため、増員が必要。
8	03北河内	08四條畷保健所	○	○	○	○	○	○	○	○			○			○			ネットラジオを通じた啓発	R7年6月～	【対象】 住民	管内のラジオ放送局と連携し、ネットラジオを通じて、食環境整備の取組等の啓発を行う。	○	○		○		○	○	○						◎				○		○	○	○				○	○	○			【結果】 ① ６月3日（火）～ テーマ：保健所における健康づくりの取組（地域職域連携推進事業） ② ９月2日（火）～ テーマ：地域・職域連携推進事業における保健所と企業の取組（イベント告知等） ③10月25日（土）～ テーマ：大東・四條畷歯科医師会と保健所の連携（お口の健康等） ④11月12日（水）～ テーマ：働く世代に向けたがんの啓発における関西医科大学付属病院と保健所との連携 新たな啓発手法として昨年度より出演し、連携先の拡充ができた。
9	03北河内	09枚方市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	健康フェア	R7年度 （通年）	【対象】 市民、在勤、在学 【連携機関】 ・庁内他部署 ・企業/団体 ・商業施設 ・市内５大学 ・市内高校 ・食育関係団体 など様々	【目的】 課題の多い働く世代や子育て世代に健康づくりについて啓発を行うこと。 【内容】 各種イベントで血圧測定や筋力測定などの測定会を実施する他、６つの分野の健康づくりや健診・がん検診について啓発した。	○	◎			○	○	○	○	○	○	○		○		○			○	○	○	○	○	○		○					【結果】 ・様々な団体が主催するイベントにて11回ブース設置を行い、延1838人に測定を行った。（2月にも実施予定あり） ・庁内他部署や民間企業・団体が開催するイベントにブース設置させてもらうことで、課題である働く世代や子育て世代への啓発ができた。 ・市内高校文化祭にて高校生とコラボした啓発を行うことができ、97%がとてもよかった・よかったと答えた他、健康づくりを考える機会になったとの意見を多くいただき、ライフコースを踏まえた健康づくりの啓発ができた。 【課題】 ・イベントが9～11月に重なりやすい。健康講座や企業の支援等の他の事業もこの時期に動くものが多く、職員への負担が集中しやすい。 ・大学での健康フェアは大学側の協力体制により参加者数が変わる。 ・参加者の満足度は高いが、市全体の指標（運動習慣者の割合など）には大きな変化みられない。

	二次医療圏	保健所名	令和７年度取組み分野															令和７年度取組みのうち重点的な取組み																														
			生活習慣病発症予防						早期発見重症化予防			生活機能維持・向上				社会環境整備						取組み分野												取組の方法											予算事業区分			
			栄養・食生活	身体活動・運動	休養・睡眠	飲酒	喫煙	歯と口の健康	健診	がん検診	重症化予防	ロコモ	フレイル	骨粗鬆症	メンタルヘルス	ヘルスリテラシー・気運醸成	ＩＣＴ（ＰＨＲ等）活用	社会環境整備	取組名	実施年月	対象者、連携機関	取組の概要 ・目的	栄養・食生活	身体活動・運動	休養・睡眠	飲酒	喫煙	歯と口の健康	健診	がん検診	重症化予防	ロコモ	フレイル	骨粗鬆症	メンタルヘルス	ヘルスリテラシー・気運醸成	ＩＣＴ（ＰＨＲ等）活用	社会環境整備	会議・作業部会	研修会・講演会	個別相談（健康相談等）	ブース出展	体験型イベント	リーフレット配布	パネル展示	アンケート調査	人材、ボランティア育成	啓発媒体作成	その他	たばこ対策推進事業	糖尿病予防戦略事業	特定給食施設指導事業	結果・課題
10	04中河内	10八尾市保健所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	八尾市糖尿病予防集中キャンペーン	R7年11月～12月末	【対象】 八尾市民 【連携機関】 ・庁内関係課 ・大阪大学 ・神戸学院大学 ・なかむらクリニック ・新田ゼラチン ・住友生命 ・創造社デザイン専門学校 ・医師会・歯科医師会・薬剤師会 ・八尾市立病院	八尾市では、令和4年4月にスタートした「八尾市健康まちづくり計画～健康日本21八尾第4期計画及び八尾市食育推進第3期計画～」に基づき、糖尿病等生活習慣病の予防に取り組んでおり、 11月14日から12月末までの期間を「八尾市糖尿病予防集中キャンペーン」と定め、強化期間として糖尿病対策を進めることとしている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○					◎	○	○		○	○	○	○	○	○			○	○					【結果】 ・血糖変動モニタリング検査の実施。（連携：大阪大学） ・公園でくてく健康づくり教室の実施。（連携：神戸学院大学） ・糖尿病講演会の実施。（連携：八尾市立病院） ・なかむらクリニックふれあい運動教室の実施。（連携：なかむらクリニック） ・100歳まで歩こう！ふれあい運動教室の実施。（連携：新田ゼラチン） ・啓発ポスターの作成。（連携：創造社デザイン専門学校） ・庁内関係課や医師会・歯科医師会・薬剤師会、その他民間企業等の協力により、糖尿病予防集中キャンペーンのポスター等での啓発を実施。 【課題】 ・市民の行動変容につながるような取り組みを検討していく必要がある。
11	04中河内	11東大阪市保健所	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	改定された睡眠ガイドに対応した睡眠に関する啓発活動	R7年11月① R7年7月②	【対象】 ①一般市民 ②特定給食施設 【連携機関】 ①東大阪公衆衛生協力会	「健康づくりのための睡眠ガイド2023」に対応した啓発媒体を作成し、広く市民や、第3次健康増進計画策定時のアンケート調査で睡眠の評価指標がよくなかったく世代への啓発を行う。			◎														○		○			○			○	○				【結果】 ・集団指導用パワーポイント資料、イベント用掲示資料の作成完了 ①220人　②130回再生 【課題】 ・さまざまな機会に媒体を活用し、年代に合わせた啓発活動を行っていく。 ・市内事業所への健康経営支援の際に、睡眠について啓発を行っていく。
12	04中河内	12藤井寺保健所	○	○	○	○	○	○	○	○			○		○	○	○		大学への食生活や禁煙を中心とした健康づくりへの取組	R7年5月 R7年7月 R7年9月	【対象】 大学生、大学職員 【連携機関】 大学担当課、食堂事業所	大学と連携し、学生及び大学職員が食生活改善や禁煙等健康づくりに取組むような支援を実施。	◎				◎									○								○		○			○	○	○	【結果】 （栄養・食生活） ・当所で作成した野菜摂取促進の啓発ポスターを管内大学へ掲示依頼。(５大学) ・掲示状況について大学及び各学生食堂へアンケート実施 (４大学) ・啓発ポスターについて、大学生へアンケートを実施し、野菜摂取促進の啓発を実施。(2大学３食堂にて103名) （喫煙） 世界禁煙デーに合わせ、大学へ啓発チラシを配布、掲示。 （健康づくり） 健康増進月間に合わせ、食生活、禁煙等の啓発ポスターの配布や健康づくりに関する情報提供実施 【課題】 大学のニーズや現状を踏まえ、継続的な啓発が必要である。
13	05南河内	13富田林保健所	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○		○	地域活動栄養士会と連携したレシピ作成の支援	R7年12月 ～R8年3月	【対象者】 府民 【連携機関】 地域活動栄養士会、直売所	【目的】 府民の野菜摂取への意識の向上及び家庭での健康的な食生活の実践を促す 【取組の概要】 地域活動栄養士会と連携し、大阪府が推進するV.O.S.メニューのレシピ作成を行った。作成したレシピ集は、保健所ホームページ、おおさか食育通信Facebookに掲載する。また、管内直売所等に周知し配架・掲示を依頼する。	◎													○	○				○		○	○			○			【結果】 V.O.S.メニューを4レシピ作成。R7年度中に、保健所ホームページ及びおおさか食育通信Facebookにおいて周知、管内６直売所における配架を予定している。 【課題】 ホームページやFacebookの閲覧数は少ないため、地域活動栄養士会の事業や市町村を通じて等、新たな啓発方法の検討が必要。
14	06堺市	14堺市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	さかいヘルシーキッチン（野菜摂取・減塩の健康応援店）登録事業	R7年4月	【対象】 登録要件を満たす本市の区域内に存する事業所	さかい健康プランに掲げる、自然に健康になれる環境整備の推進を目的に、飲食サービス業や食料品販売を行う小売業等の事業所をさかいヘルシーキッチン（野菜摂取・減塩の健康応援店）として登録し、情報発信を行う。	◎				○					○	○		○	○	○								○	○					【結果】 23件の登録があった。 【課題】 ・登録件数が少ない。 ・まだまだ知られていない事業であるため、あらゆる機会を通じて周知啓発を継続してしていく必要がある。

	二次医療圏	保健所名	令和７年度取組み分野															令和７年度取組みのうち重点的な取組み																														
			生活習慣病発症予防						早期発見重症化予防			生活機能維持・向上				社会環境整備																														結果・課題
			栄養・食生活	身体活動・運動	休養・睡眠	飲酒	喫煙	歯と口の健康	健診	がん検診	重症化予防	ロコモ	フレイル	骨粗鬆症	メンタルヘルス	ヘルスリテラシー・気運醸成	ＩＣＴ（ＰＨＲ等）活用	社会環境整備	取組名	実施年月	対象者、連携機関	取組の概要・目的	取組み分野：栄養・食生活	身体活動・運動	休養・睡眠	飲酒	喫煙	歯と口の健康	健診	がん検診	重症化予防	ロコモ	フレイル	骨粗鬆症	メンタルヘルス	ヘルスリテラシー・気運醸成	ＩＣＴ（ＰＨＲ等）活用	社会環境整備	取組の方法：会議・作業部会	研修会・講演会	個別相談（健康相談等）	ブース出展	体験型イベント	リーフレット配布	パネル展示	アンケート調査	人材、ボランティア育成	啓発媒体作成	その他	予算事業区分：たばこ対策推進事業	糖尿病予防戦略事業	特定給食施設指導事業	
15	07泉州	15和泉保健所	○	○		○	○						○		○	○			健康づくり活動の普及啓発	R7年９月①R7年11月②③	【対象】 ①和泉市民健康まつり来場者 ②桃山学院大学 桃山祭来場者 ③忠岡町健幸まつり来場者	健康寿命延伸に向けた健康づくりの取組みとして「健活10」を軸に健康づくり活動の普及啓発を実施する。	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	◎		○			○	○		○	○	○		○		○				○				【結果】 ①来場者510名。 ②来場者173名。 ③来場者153名。 ・いずれも体験コーナー（アルコールパッチ、酒酔い体験ゴーグル、肺年齢測定）を設けたことで、多くの地域住民が来場し、健康づくり活動に関心をもってもらう機会となった。 ・市町職員や大学職員などの関係機関に対しても、保健所が実施する健康づくりの普及啓発事業を改めて知ってもらう機会となった。 ・②の大学祭は、保健所でアスマイルのイベント登録を行い、イベントを周知したことで、複数名の利用者の来場につながった。 【課題】 アスマイルを機に来場した地域住民は中高年層に限られたため、若い世代からのヘルスリテラシー向上に向けて、イベント周知方法を考える必要がある。
16	07泉州	16岸和田保健所	○	○	○		○			○						○		○	町会館への受動喫煙防止対策推進事業	R7年7月	【対象】 町会長 【連携機関】 岸和田市自治振興課	町会館が原則屋内禁煙であること及び施設管理者の責務を周知し、町会館利用者の受動喫煙防止を促進する。				◎									○						○			○		○								【結果】 ・市が開催する連合会長会議を活用して、全町会長へ啓発した。また、町会館の禁煙化状況アンケートを実施し、市内145町会中140町会から回答を得た結果、14町会館が屋内喫煙可能としている実態を把握できた。 ・町会館で屋内喫煙可能と回答した14町会長へ、直接電話にて屋内禁煙化の指導を行った。町会によっては、今回の啓発をきっかけに禁煙化した町会もあった。 ・啓発後、町会長から保健所へ、禁煙化に向けたポスター・標識の追加希望や法令の確認に関する問合せが８件あった（例年は0件）。 ・町会の代表者が出席する連合会長会議を通じて周知を行うことで、町会館だけでなく、町会所有の集会所や老人会館へのポスター・標識掲示にもつながった。 【課題】 ・今後、屋内喫煙可能な14町会館の禁煙化状況を確認するとともに、アンケート未回答の5町会に対して、引続き、実態把握と制度周知に取組む必要がある。
17	07泉州	17泉佐野保健所	○	○	○	○	○			○		○	○		○	○			若い世代からの生活習慣病予防	R7年6月～R８年２月	【対象】 管内大学生、府民 【連携機関】 管内大学、市町保健センター	【内容】 若い世代への情報提供 ・栄養バランスのとれた食生活の実践のため、市町や大学等と連携し情報提供を行う。 【対象】大学等	◎			○	○	○							○							○	○	○	○	○					○		【結果】 ・関西医療大学の昼休みに食堂前にブースを設置し、栄養・食生活等に関する知識の啓発を行った。(リーフレット等配布数95) ・大阪公立大学の特殊健康診断日に合わせて、大学内ロビーにブースを設置し、健康に関する知識（バランスのよい食生活・喫煙防止・適正飲酒・薬物乱用防止 等）の啓発を行った。 (リーフレット等配布数70) ・管内市町保健センターと連携し、バランスの良い食事や野菜摂取の必要性、クックパッド泉佐野保健所公式キッチンについて、市町民へ情報提供。 ・６月食育月間に合わせ、クックパッド泉佐野保健所公式キッチンの掲載メニューを使い、買い物メモ付きの１週間献立を作成し、ホームページへの掲載や上記イベントでのチラシ配布等を実施。 （令和７年６月該当ホームページビュー数：1841） 【課題】 ・アンケート結果より、特に1人暮らしの学生は主食・主菜・副菜の揃った食事をとっている人が少ないことがわかった。 ・若い世代に響く啓発方法について引き続き検討が必要。
18	08大阪市	18大阪市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	健康に配慮した飲酒、妊娠中・授乳中の禁酒に関する啓発	R7年4月～R８年3月	【対象】 大阪市民 【連携機関】 ・各区 ・各関係事業課 ・すこやかパートナー ・産科医療機関 ・協会けんぽ ・産業保健総合支援センター	大阪市民に対して、 健康に配慮した飲酒、妊娠中・授乳中の禁酒に関する啓発を行う。	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○				【結果】 ・多様な機会を活用して幅広く市民に周知啓発を実施。 ・ホームページ等による情報発信、新たに作成した啓発動画の発信 ・ポスター、チラシの配布。 ・区・関係事業課等における事業（妊婦教室、妊婦面接、乳幼児健診、健康講座等）や各種イベント・窓口等での啓発。 （実施回数については、R8年度に集約予定） 【課題】 ・前計画において、アルコール分野の評価がよくなかった（特に妊娠中の飲酒割合）。ライフコースアプローチの観点からも、妊婦の飲酒は次世代の健康への影響が大きい。 ・他の分野と比較し、取組む機会が少ない。 ・次年度の重点取組分野は「休養・睡眠」となるが、アルコール分野についても引き続き継続的な啓発活動が必要。